

幅広い情報発信による県民との情報共有について

1 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用状況について

(1) SNSとは

インターネット上で友人を紹介しあって、個人間の交流を支援するサービス※であり、代表的なSNSとして、ツイッターやフェイスブック、ラインなどがある。本来は、人と人とのつながりを促進・サポートする個人間のコミュニケーションツールとして生まれたが、ツイッターの速報性や拡散性、フェイスブックの共感性といった特性を活かし、行政機関においても広報手段として活用する事例が増えている。

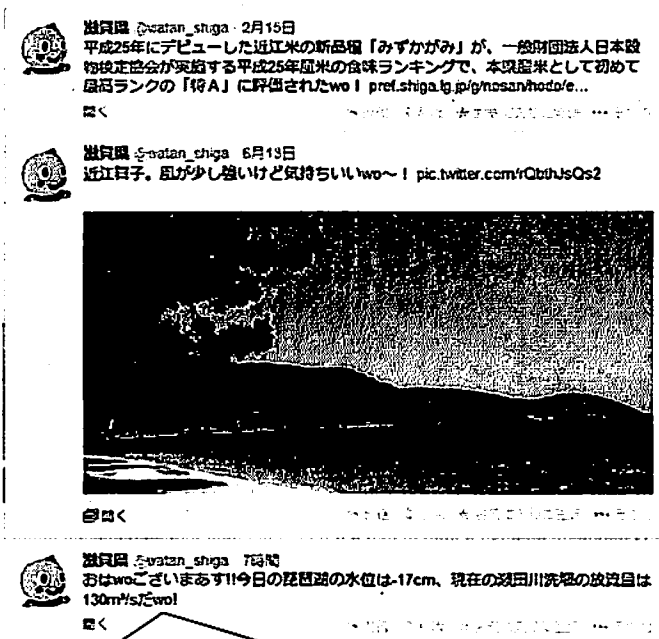
※ 総務省「平成25年版情報通信白書」より引用

(2) 本県の活用状況

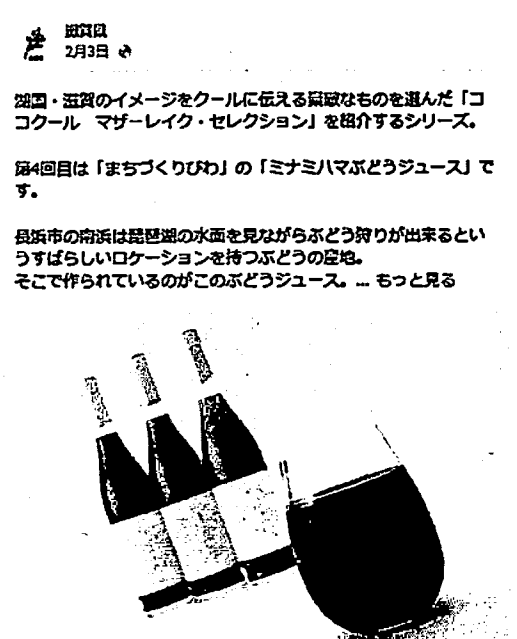
	滋賀県公式ツイッター	滋賀県公式フェイスブックページ
開始年月日	平成24年3月12日	平成25年7月1日
フォロワー数	7,996(人)	1,366(人)
発信件数	2,414 ツイート 1日あたり平均3ツイート	1回/日 (災害時等はこの限りではない)
主な発信内容	<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせ・募集・イベント情報 ・県民の安心安全に関する情報 ・琵琶湖の水位 ・季節や旬の話題・風景写真 	<ul style="list-style-type: none"> 【原則画像(写真)付きで発信】 ・お知らせ・募集・イベント情報 ・県民の安心安全に関する情報 ・滋賀の魅力発信情報

(3月10日現在)

【ツイッター画面】



【フェイスブックページ画面】




滋賀県イメージキャラクター「うおーたん」が語尾に“wo”をつけてつぶやくなど、親しみやすい情報発信に努めている。


(3) 災害時の活用状況


【平成 25 年台風 18 号災害時での活用事例】

市町から発令された避難勧告や避難指示といった避難関係情報、家屋や道路・河川などの被害情報、さらに大雨特別警報や下水道の自粛要請など、県民の皆さんが必要とする情報を発信

【台風 18 号対応時のツイッター画面】

 **滋賀県 @watan_shiga** 1日
 愛荘町は、04時53分に愛知川ニュータウン近くの泉町、長野新田、愛知川ニュータウン、淵ノ下および亀原の対象世帯406、対象者1,120人に対し避難指示を発表しました。
 詳細を表示

 **滋賀県 @watan_shiga** 1日
 東近江市は、05時01分に君ヶ畑町、蛭谷町、箕川町および政所町の避難勧告を発表しました。
 詳細を表示

 **滋賀県 @watan_shiga** 1日
 滋賀県内に大雨特別警報が発令されました。最大級の警戒が必要です。注意してください。
 詳細を表示

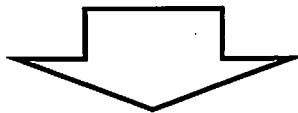
【台風 18 号対応時のフェイスブックページ画面】

大津市、岩間台地区の対象世帯672、対象者1,698人に対し避難指示を、また、浜大津三丁目の対象世帯10、対象者25人に対し避難勧告を発表しました。
 いいね！ コメントする
 〽️ [redacted]さん、[redacted]さん、[redacted]さん、他15人が「いいね！」と返っています。

東近江市は、05時01分に君ヶ畑町、蛭谷町、箕川町および政所町の避難勧告を発表しました。
 いいね！ コメントする
 〽️ [redacted]さんと[redacted]さんが「いいね！」と返っています。

愛荘町は、04時53分に愛知川ニュータウン近くの泉町、長野新田、愛知川ニュータウン、淵ノ下および亀原の対象世帯406、対象者1,120人に対し避難指示を発表しました。
 いいね！ コメントする
 〽️ [redacted]さん、[redacted]さん、[redacted]さんが「いいね！」と返っています。

滋賀県内に大雨特別警報が発令されました。最大級の警戒が必要です。注意してください。
 いいね！ コメントする
 〽️ [redacted]さん、[redacted]さん、[redacted]さん、他60人が「いいね！」と返っています。



SNS は、大規模地震発生時等、ホームページサーバがダウンした時の代替手段としての役割が期待され、こうした運用を通して大規模災害時の対応に備える。

2 テレビを活用した情報発信について

(1) 県民の暮らし安全・安心情報提供事業【予算額 20,000千円】

昨年の台風18号被害を契機に県民の間に自然災害への不安が広がったことから、びわ湖放送において平常時から河川の水位映像やライフライン情報、その他防災・防犯情報等を提供するとともに、災害警戒時には気象警報や土砂災害警戒情報、避難準備情報など、災害に備える情報を提供する番組を放送し、県民の安全・安心につなげる。

安全・安心情報番組「しらしがテレビ」放送(びわ湖放送)

月～金 朝6時30分～6時35分 / 土・日 朝6時55分～7時00分

毎日(年間365回)生放送

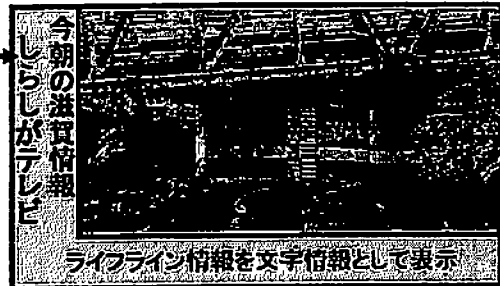
<番組内容(例)>

○テレビ画面

- ・気象情報(各種注意報、警報)
 - ・滋賀県河川カメラ画像による水位情報
 - ・琵琶湖の水位情報
 - ・放射線モニタリング情報
 - ・防犯情報
 - ・食の安全情報
 - ・その他滋賀県からのお知らせ
 - ・防災・防犯活動団体等の紹介(月2回)
⇒災害時情報ネットワークの構築につなげる
- L字情報画面
- ・ライフライン情報(鉄道・道路など主要情報)

テレビ画面イメージ

し
ら
し
が
テ
レ
ビ



テ
レ
ビ
画
面

顔出しの出演は無く、映像とナレーションで番組を構成

平
常
時
放
送

災害警戒時

特
別
報
道
編
成
に
よ
る
災
害
放
送

「しらしがテレビ」拡充

- ・各種気象警報情報
- ・土砂災害警戒情報
- ・避難準備情報
- ・河川水位情報
- ・ライフライン情報

○「しらしがメール」情報や河川カメラ画像をテレビ画面に
適宜有効に取り込み、迅速かつ効果的に放送を実施

○平常時に紹介する防災・防犯活動団体等による災害時
情報ネットワークや自治体の協力により、各地から災害
情報提供(携帯動画・写真、電話等)

+

特別災害報道対応(びわ湖放送独自)

○通常番組の放送を大幅に変更し、災害の規模や状況に
応じて特別報道番組を放送するなど、特別災害報道編
成とする

特別報道番組事例



河
川
画
像
、
天
気
図
等

(2) 在住外国人のための命と暮らしを守る情報発信事業【予算額 14,150千円】

在住外国人にとって、母国での生活習慣や体験、自然環境の違いから、日本で地震や台風などの自然災害、犯罪や事故、病気などに備えるためには、よりきめ細かな情報を得る必要がある。そのため、県内の在住外国人のうち一番多いブラジル人の母国語であるポルトガル語で、在住外国人の視点に立った防災・防犯情報に特化した番組を放送し、安全・安心につなげる。

在住外国人向け防災・防犯番組

「Tudo Bem! SHIGA (トゥドゥベン シガ)」放送 (びわ湖放送)

※「Tudo Bem」とは、ポルトガル語で「元気？」という意味

放送日時: 毎月最終土曜日 昼12時～12時20分

月1回 年間12回放送

放送形態: ポルトガル語放送 + 日本語字幕

※ 放送後、英語に吹き替え、「ポルトガル語版」「英語版」をYou Tubeで24時間視聴可能とする。

<番組テーマ(例)>

- ・地震への備え ・台風への備え ・豪雨対策 ・大雪対策 ・原子力災害対策
- ・熱中症対策 ・食中毒対策 ・インフルエンザ、ノロウイルス等感染症対策
- ・子供の交通安全対策 ・防犯対策 ・消費者トラブルなど

各特集テーマに沿って、ブラジル人キャスターが取材VTRをもとに在住外国人にわかりやすく解説する。併せて、在住外国人が滋賀県で生活する上で役立つ情報も提供する。

(3) 新年度における県政広報番組について

「県政週刊プラスワン」 土曜日 夜9:00～9:20 日曜日 朝8:30～8:50(再放送)

番組認知率 51.6% 番組視聴率 8.6%(県政世論調査結果)



① 番組名の変更

「テレビ滋賀プラスワン」

② 放送時間の変更

土曜日 昼12時～12時20分

日曜日 朝8時30分～8時50分(再放送)

③ 番組構成の改善

<特集>

+

<滋賀県情報>

主要な県施策や事業をテーマに、リポーターが現場での取材に基づきVTRやフリップを用いてわかりやすく紹介する。

お出かけ情報や地域の話、県ゆかりの人へのインタビューなど、親しみやすい情報をお伝えする。

④ 番組広報の充実

次回予告番組宣伝の回数が増やすとともに、金曜日放送の情報番組で翌日の番組について告知する。また、出演者によるブログの掲載など番組広報の充実を図る。

3 「滋賀の魅力発信事業」の実施結果について

(1) 趣旨

京阪神を主な販売エリアとする雑誌に広告記事を掲載することにより、県外に向けて滋賀の魅力を発信するとともに、掲載した広告ページを抜き刷りし、県外や首都圏でのイベントや高速道路のSA・PA等で配布を行うことにより、雑誌の読者以外にも滋賀の魅力を伝える。

(2) 概要

① 掲載媒体「月刊誌 Leaf 11月号」

発行部数 : 10万部

発行エリア : 京都・滋賀をメインに関西圏や首都圏、主要都市など

ターゲット : 20代～30代の女性

契約金額 : 3,359,370円

② 掲載テーマ「子育て・子育て環境」

滋賀の魅力ある子育て・子育て環境を、働く女性のための支援や自然の中でのびのびと遊ぶことのできる環境、「うみのこ」をはじめとした滋賀ならではの教育を切り口として表現した。

併せて、子どもと一緒に楽しむことができるカフェや大自然を満喫することができるキャンプ場などのレジャー施設情報を盛り込むことにより、滋賀への誘客を図る内容とした。

③ 主な抜き刷りの配布先 (7,000部)

NEXCO 西日本・中日本高速道路管内のSA・PA

「淡海の人大交流会」等の首都圏でのイベント

セブンイレブンの県内各店舗 など

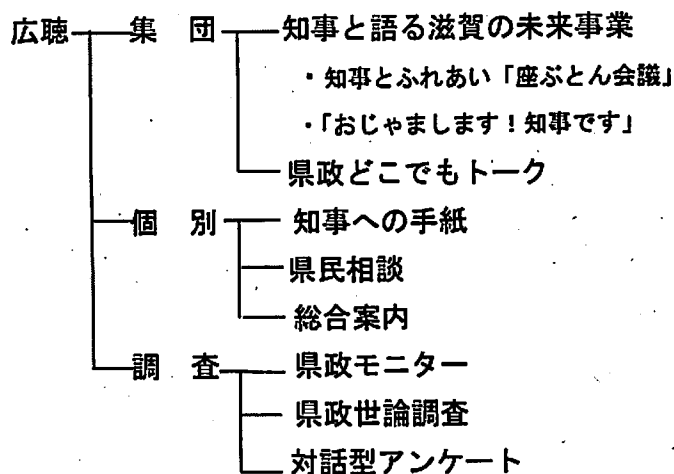
(3) 効果

掲載記事を通じ、主なターゲット層である女性に対し、「滋賀の子育て・子育て環境」の魅力を伝えることができた。

また、編集部に対し、滋賀県に関する話題提供や交渉を行った結果、Leaf 11月号を「おいしい滋賀」として、「まるごと滋賀特集化」につなげることができ、滋賀の魅力発信の観点から、広告掲載費以上の効果を得ることができた。

4 広聴事業の実施状況について

(1) 体系図



(2) 「知事と語る滋賀の未来事業」

次の2つの方法により、先進的な取組や特色のある活動を行っている自治会、NPO、事業所等を訪問して実施する。

① 知事とふれあい「座ぶとん会議」

- ・時間は1か所2時間程度（視察を含む）対話人数は15人程度
- ・平成25年度2回開催（累計36回）

開催期日	対象団体	開催地
25.5.2	水口子育て支援センターをご利用のみなさん	甲賀市
26.1.9	こだわり滋賀ネットワークのみなさん	大津市

② おじゃまします！知事です

- ・時間は1か所1時間程度（視察を含む）対話人数は数人程度
- ・平成25年度15回開催（累計80回）

開催期日	対象団体	開催地
25.5.21	NPO法人 マイペースプロジェクト	大津市
25.7.22	農事組合法人サンファーム法養寺	甲良町
25.8.2	女性技術者	大津市
25.8.18	南比良生産森林組合（南比良共有財産管理会）	大津市
25.8.23	中部地域（甲賀・東近江・湖東）森林組合若手職員	東近江市
25.9.5	長浜市錦織町自治会	長浜市
25.10.3	滋賀トヨペット株式会社	栗東市
25.10.3	日本カーボン株式会社滋賀工場	近江八幡市
25.10.3	扶桑工業株式会社	長浜市

25. 10. 28	滋賀県立大学環境マネジメント事務所	彦根市
25. 11. 29	志那町真珠養殖専門委員会	草津市
25. 12. 17	甲賀市山内自治振興会	甲賀市
26. 1. 12	滋賀県人権啓発学生サポーター会議	大津市
26. 2. 20	「権座・水郷を守り育てる会」	近江八幡市
26. 2. 25	レーク大津農業協同組合はなふじ米生産グループ	大津市

(3) 「知事への手紙」

- ① 受付数 981 通 (平成 26 年 2 月末現在)
インターネット 590 通、県広報誌掲載様式 207 通、封書・ハガキ 164 通、FAX 20 通
- ② 受付数が多かったテーマ
- ・米軍オスプレイ参加の饗庭野演習場における日米共同実動訓練について
 - ・鴨川河川敷とその周辺における木材チップ無断放置について
 - ・台風 18 号災害について
 - ・県立高校の韓国修学旅行について

(参考) 過去 5 年間の年度別受付件数 (単位：通)

年度		平 20	平 21	平 22	平 23	平 24
受付数		1,282	897	1,079	1,222	4,643
内訳	インターネット	715	583	665	855	3,283
	ファックス	12	12	7	18	118
	封、ハガキ等	555	302	407	349	1,242

(4) 県政モニター

- ① 委嘱人数 公募 399 名 (平成 26 年 2 月末現在)
- ② 主な活動内容

ア 県政への意見・提言 69 通

イ アンケート調査の実績 14 件 年間平均回答率 79.4%

実施月	アンケート内容	担当所属
5 月	広域行政のあり方	企画調整課
6 月	レジ袋削減の取組	循環社会推進課
	食の安全・安心	生活衛生課
9 月	低炭素社会づくりの推進・地球温暖化対策に関する取組	温暖化対策課
	滋賀県の安全・安心情報の配信	情報政策課

10月	「おいしが うれしが」キャンペーンおよび「環境こ だわり農産物」	食のブランド 推進課
	琵琶湖の景観保全	都市計画課
11月	滋賀県の道路	道路課
12月	文化	文化振興課
1月	人権啓発事業	人権施策推進課
	健康情報提供プログラム「いきいき健康ライフ」	成人病センター 医療情報室
2月	豪雨災害および土砂災害に関する意識	流域政策局
	スポーツ実施状況調査	スポーツ健康課
	滋賀県基本構想	企画調整課

③ その他

・子ども県議会の終了後の子ども議員からの県政への意見募集

県政に関することについて、今後も引き続き意見を聞かせてもらえるように、郵送・ファックス様式を配付するとともに、専用のメールアドレスをお知らせした。 意見提案 3件（平成26年2月末現在）

(5) 県政世論調査

① 調査対象 県内在住の満20歳以上の男女個人（外国人を含む）

② 標本数 3,000人 有効回答率 52.6%

③ 調査期間 平成25年6月6日～平成25年6月28日

④ 調査項目

ア 県政全体に関する満足度について

イ 県の広報・広聴活動について

ウ 森林づくりについて

エ 生物多様性について

オ 文化について

カ 広域行政のあり方（広域連合・道州制）について

(6) 対話型アンケート

① 実施日 平成25年10月14日

② テーマ 「森林づくりについて」

③ 参加者 県政世論調査対象者40名・県政モニター20名 計60名

平成26年度広報広聴事業概要

広報活動

媒体	主に県内向け	主に県外向け
広報誌 新聞 雑誌等	「滋賀プラスワン」(奇数月、年6回発行、520,000部/回) 新聞紙面広告(全5段6紙、奇数月最終日曜日掲載)	滋賀の魅力を雑誌広告で発信
テレビ	「テレビ滋賀プラスワン」 (土曜:12:00~12:20 再放送日曜:8:30~8:50) 「手話タイム・プラスワン」(隔土曜:12:20~12:30) 「しらがテレビ」 (月~金:6:30~6:35 土・日:6:55~7:00) 「Tudo Bem! SHIGA」(トウドウベン シガ) (最終土曜:12:00~12:20) 広報誌「滋賀プラスワン」データ放送 年間6回更新	
ラジオ	F M滋賀「滋賀プラスワンインフォメーション」(毎金17:20~17:25)	
その他	広報点字版(年6回、208部/回) 広報音声版(年6回、テープ265本/回、CD78本/回) 包括的連携協定企業での広報物掲示(イオン、ファミリーマート、セブンイレブン、平和堂)	包括的連携協定企業での広報物掲示 (ネクスコ中日本・西日本高速道路)
インターネット	滋賀県ホームページ(事後広報「こんなことがありました」、「滋賀の風景」写真等) メルマガしがMother Lake(月2回発行) 公式ツイッターの運営(毎日、随時) 公式フェイスブックの運営(毎日、随時) 動画配信「インターネットTVしが」による県政情報等の発信 ※	
携帯	「滋賀県モバイル県庁」(随時発信)	
パブリシティの活用	知事定例記者会見(原則毎週1回、知事からの話題提供) 報道機関への資料提供(随時) 報道機関からの知事取材等対応(随時)	雑誌・テレビ等メディアへの企画提案 ※
職員広報マインド・スキルの向上	政策研修センター「広報・広聴基礎講座」、「新規採用職員フォローアップ研修」 CMS操作研修の実施 広報広聴連絡員会議開催 広報印刷物アドバイス(年間9回:企画・構成、デザインの指導) 県広報協会主催の広報研修への参加促進	

※知恵だし汗かきプロジェクト

広聴活動

集団	・知事と語る滋賀の未来事業(月1~2回) ①知事とふれあい「座ぶとん会議」15名程度 ②「おじゃまします!知事です」数名程度 ・県政どこでもトーク(6月~3月 1回90分程度)
個別	・知事への手紙(随時:インターネット、手紙、FAXでの受け付け) ・県民相談(随時:専任の相談員の配置) ・総合案内(随時:電話による案内)
調査	・県政モニター(400人、公募、任期1年(更新可)、インターネットを利用) ・県政世論調査(標本数:3,000人、県内在住の満20歳以上の男女(外国人を含む)) ・グループ討論会(シンポジウム等と連動させ、分野ごとに分かれてグループで討論を行う)